新約聖書の時代

アイデンティティを模索するキリスト共同体

浅野淳博❖著

イエス、パウロ、そして最初期のキリスト共同体は、どのような時代と社会を生き抜いたのか？　そしてこの歴史を学んだ者として、私たちはいかに今を生きるのか？　未来への羅針儀となる第一級の歴史書であり、豊富な図版によって見ても楽しい新約聖書時代史入門。

【目次】

第Ⅰ部　列強支配下の第二神殿期ユダヤ教
第1章　ハスモン朝ユダヤの盛衰／第2章　第二神殿時代のユダヤ社会とその思想／第3章　ローマ帝国のユダヤ属州支配／第4章　ヘロデ朝のユダヤ統治と徴税制度
第Ⅱ部　最初期のキリスト共同体
第5章　イエスと神の国運動／第6章　最初期のキリスト共同体／第7章　パウロ－前篇――改宗以前から初期宣教まで／第8章　パウロ－後篇――コリント、エフェソ、ローマ
第Ⅲ部　二つの戦争とキリスト教の誕生
第9章　第一次ユダヤ戦争と戦後のキリスト共同体／第10章　離脱と排除の時代

❖**著者紹介**　浅野淳博（あさの・あつひろ）　1960年、山陰松江生まれ。フラー神学校にて神学修士号（1997年）、オックスフォード大学にて哲学博士号（2003年）を取得。現在は関西学院大学教授、京都大学講師。
著書　『ガラテヤ共同体のアイデンティティ形成』（講談社／創文社、2012年）、『NTJ新約聖書注解　ガラテヤ書簡』（日本キリスト教団出版局、2017年）、『死と命のメタファ』（新教出版社、2022年）他。
訳書　R. ボウカム『イエスとその目撃者たち』（新教出版社、2011年）、J.D.G. ダン『使徒パウロの神学』（教文館、2019年）他。

四六判・上製・484頁・定価4,620円（本体4,200円+税）　ISBN978-4-7642-6178-5　C3016